



2023

業界・組合リーダーの 年頭所感

新年を迎え、業界並びに中小企業組合のリーダーの皆様、
業界の現状、新年の展望等についてご寄稿いただきました。

－順不同・敬称略－



赤帽群馬県軽自動車運送協同組合

理事長 赤 間 美代子

謹んで新春のお慶びを申し上げます。

新型コロナウイルス感染症が一向に衰えを見せず、消えかけてはまん延していくという繰り返しの中、少しずつ日常を取り戻すように海外からの観光客や国内でもワクチン3回接種した人への各県対応のクーポンなどを配布し観光の促進を図り、観光地では賑わいも見せていました。ワールドカップで日本の選手が頑張り、全員で世界の強豪と戦っていく姿は多くの国民が勇気と感動を貰ったと思います。

組合におきましては、インボイス制度が始まるということで組合員のほとんどが個人事業主のため、講習会を開催し理解を深めました。

令和5年は組合員の減少に歯止めをかけ、増員対策に注力し、万全を期してお客様への対応をしていく所存です。個々の組合員との連携を図り、オール群馬でこの厳しい難局を切り開き乗り越えていきたいと考えています。

結びに、赤帽群馬県組合員全員で各組合の皆様方のご繁栄とご多幸をお祈り申し上げます。

太田機械金属工業協同組合

理事長 大 江 通 浩

新年明けましておめでとうございます。

さて、昨年を振り返りますと3年に及ぶコロナ感染症の影響からの原材料不足、また昨年2月にはロシアのウクライナ侵攻を起因とする諸物価高

騰、世界的なインフレ問題等々、我々を取り巻く諸環境は予測困難、先の見えない大変厳しい情勢下にありました。

また、足元では電力料金、原材料の値上がりをはじめ、為替の問題、加えて人材確保への対応等、克服すべき喫緊の問題が山積する中、組合では脱炭素・エネルギー問題等に取り組むべき喫緊の課題とし、カーボンニュートラルに関する講演会等積極的に開催しました。

2023年は組合員企業が連携し、取り組むべき課題を一步一步克服出来るよう一層の努力をしていく所存ですので、関係機関の皆様には引き続きのご指導ご鞭撻をよろしくお願い申し上げます。

桐生織物協同組合

理事長 小 林 雅 子

皆様におかれましては、健やかな内に新年をお迎えの事と心からお慶びを申しあげます。

さて、昨年の日本経済は、コロナウイルスによる落込みからの回復に向け、様々な面で制限の緩和がなされ好転が期待された半面、ロシアのウクライナ侵攻による世界的な情勢不安は、経済に対しても大きなダメージを与え、エネルギーや原材料価格の高騰は先行きが見えず、物価高は個人消費にも影を落とす状況となりました。これらは桐生織産地にとりましても影響が大きく、組合員企業も厳しい状況となっております。

このような中で迎えた本年ですが、国内での行楽や、海外との往来も徐々に回復していくなど明るい兆しのなか、それが本格的なものとなり社会が明るさを取り戻せるよう期待します。私たち織



維メーカーとしましてはSDGsに配慮した商品開発や、積極的な情報発信など地域ブランディングに取り組んでいくことで産地の活性化を図ってまいります。桐生の織物が多くの皆様に喜びと笑顔をご提供できるよう力を尽くしていきたいと考えております。

関係各位のご指導ご協力のもと組合員一同、力を合わせて桐生織産地の活性化に向けて鋭意努力いたして参ります。皆様方の一層のご指導、ご支援をお願い申し上げます。

ぐんま共済協同組合

理事長 田部井 俊 勝

新年、明けましておめでとうございます。旧年中は格別なるご支援とご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。

近年、全国各地で発生する大規模な自然災害や、急速に進む少子・超高齢化社会への進行に伴う慢性的な労働力不足に加え、新型コロナウイルス感染症による経済低迷の長期化など、県内中小企業者にとって受け止めるべきリスクは年々高まっております。このように厳しく不確実な環境下において、ぐんま共済は、就労可能年齢のがん罹患者が、病気と向き合いながら生き生きと働くことができる事業環境の構築を目指し、令和初めての商品として、がん治療に着目した新共済制度であります、「がんサポート共済」の取扱いを開始いたしました。

本年も、ぐんま共済は、共済事業者として、私たちの社会を取り巻くリスクとしっかりと向き合いながら、ご契約者様の安心と安全の実現に向け力を尽くしてまいりますので、何卒変わらぬご指導ご厚誼の程お願い申し上げます。

群馬県印刷工業組合

理事長 石 川 靖

明けましておめでとうございます。

昨年もしろいろなことがありました。コロナウイルス感染症の問題、ロシアによるウクライナへの侵攻等、明るい話があまりありませんでした。

人々の生活や働く環境はコロナの影響でだいぶ変わりました。一言でいえば、人間の価値観が大きく変化したということだと思います。今までの普通のこと普通ではなくなり、当たり前だった

ことが貴重なことになりつつあるように感じます。果たしてこのことは私たち印刷業界にとっては危機的なことなのか、それとも好機なのか。それは考え次第だと思っています。今年はこのことをもう一度考えなおし、そこからリスタートしたいと思います。今年がどんな一年になるか全く予想がつきませんが、臨機応変に対処しながら組合運営を進めて行きたいと考えています。

協同組合群馬県建築設計センター

理事長 水 口 栄

明けましておめでとうございます。

協同組合群馬県建築設計センターは、官公庁、諸団体等発注の建築設計、工事監理等の共同受注事業を行っています。

公共建築物は昭和40年代から60年代にかけて多くの新築工事が行われましたが、建築物の長寿命化等を図る要請を受けて、現在では耐震改修設計、省エネ改修設計、バリアフリー改修設計等様々な改修設計を行っています。

当組合は、創設以来50年間の公共建築物の設計監理の実績を有しており、今後も組合員と技術力の向上を図り、多様なニーズに的確に応えられる団体になるべく努力してまいります。

また、昨今の多発している自然災害等に対しても的確な対応力を身に着ける所存であります。

関係各位のご指導の下、本年も更に頑張ってまいりますのでよろしくお願い申し上げます。

群馬県コンクリートブロック事業協同組合

理事長 町 田 憲 昭

「ブロックでSDGsの目標を達成」

新年明けましておめでとう御座います。

旧年中は格別なるご支援とご厚情を賜り厚く御礼申し上げます。

国内では新型コロナウイルス感染は今もなお続いており、終息が見通せない状態です。またロシアのウクライナ侵攻の影響で、国内の物価とエネルギー費用の高騰も続いています。そこで当組合では本年はSDGsの目標13「気候変動に具体的な対策を」に対処すべく、近年の激甚化する豪雨災害から家や人命を守るため、水災の60%は床上・床下浸水であることから、ブロック塀と止水板で被害を最小限に食い止める対策を進めてまいりま



す。

本年も会員の皆様のご協力を得ながら未来発展の為事業に邁進させて頂きたく、ご指導ご鞭撻の程宜しく願い申し上げます。

群馬県再生資源事業協同組合連合会

会長 小林 克 禎

新年明けましておめでとうございます。

昨年は再生資源業界におきましてもコロナ感染拡大の影響が続く中、組合活動も自粛傾向でありましたが、秋口からは厳しい状況も緩和され持ち直しの動きもあり組合員の心の距離が離れないよう交流会や講演会も3年ぶりに開催させて頂きましたが、年末に向けては感染も増加しており本年も危惧する所であります。

令和5年におきましても、経済全体のダメージが懸念されますが、再生資源業界におきましても実体経済の落ち込む中で資源回収量の低下のもとで厳しい業界環境が続くのではないかと考えております。コロナ禍の中で今迄価値のあった物がなくなったり、その逆が起きたりと目まぐるしく変化をしております。そのような中、組合としての「在り方」が問われているような気がしております。再生資源業界は資源循環の牽引役であり環境保全に対する社会的な意識が高まって行く中で従来にも増して重要な役割を果たす為にも資源インフレ、カーボンニュートラル、人手不足など取り組むべき課題は山積しておりますので、コロナ収束を見据えてニューノーマルに相応しい事業推進の検討や模索をし組合の皆様と共に考え、共に成長できるよう今年一年取り組んでまいり所存であります。

本年も皆様のご指導、ご協力を宜しく願い申し上げます。

群馬県砕石工業組合

理事長 金子 光 宏

安全・安定した砕石業を目指して

謹んで新春のお慶びを申し上げます。

昨年は年明け早々から、第6波が襲来し感染者が急増・拡大。1月から3回目のまん延防止等重点措置が実施され、3月まで延長・再延長。その後も高止まりの状況が続き、8月をピークに第7波が襲来。累計感染者数も20万人を突破し、そ

の後一時減少するも、11月には増加し始め、この冬のインフルエンザの流行と合わせた、第8波への対策が急がれています。

一方、原材料費の高騰や円安に伴う輸入品の値上がりが続き、飲食料品等も軒並み値上げされ、家計負担が増しています。

砕石業界においても、製品価格低迷の中で、原油価格を始め、製造に必要不可欠な諸機材等が軒並み値上がりし、生産コストが大幅にアップ。受注高も減少して、経営を圧迫している状況を踏まえ、組合では昨年6月に県内の建設業協会、生コン組合等を訪問し、砕石価格改定に伴う文書を手交して、ご理解ご協力を依頼しました。

今年も安全操業、安定経営、安定供給を目指して取り組んでいく所存ですので、よろしくお願い致します。

皆様にとってより実りある年となりますようご祈念申し上げますと共に、本年もよろしくお願い申し上げます。

群馬県商店街振興組合連合会

会長 今 川 守

明けましておめでとうございます。

新型コロナウイルスの感染状況は、一進一退を続けておりますが、規制緩和が段階的に進み、商店街においても景気回復への期待が高まっています。一方で、世界的な原材料高の影響で生活必需品の値上げが相次ぎ、消費者の生活防衛意識はこれまで以上に強まっています。商店主からは商品の値上げによる顧客離れを不安視する声も聞こえてきます。

こうした中、本連合会傘下の各商店街では、来街者の増加や個店の売上向上を目的に、恒例となっている「えびす講市」の復活、「電子地域通貨」とタイアップした販促イベントの開催、さらには、初めての試みとして「100円商店街」を実施する等、工夫を凝らした様々な取組みが見られます。

本連合会といたしましても、傘下商店街のこうした前向きな努力を後押しすべく、積極的に支援事業を展開するとともに、関係行政機関との連携を一層密にし、これまで以上に支援体制を強化していく所存です。

関係各位におかれましては、本年も何卒ご指導ご鞭撻のほど宜しく願い申し上げます。



群馬県食肉事業協同組合連合会

会 長 征矢野 茂

HACCP (ハサップ)とウィズコロナ

新年明けましておめでとうございます。今年も皆々様の業界が発展することを切にお祈りしております。

さて、2021年6月よりハサップが義務化され、それまでの衛生管理からハサップの考え方を取り入れた衛生管理へと発展致しました。これは食品に携わる全ての業者の方が対象となりました。

私達、群馬県食肉事業協同組合連合会はこの義務化をより安全、安心が求められるウィズコロナにおいて消費者の皆様の信頼を獲得できる好機と捉え真摯に取り組んでいます。

ウィズコロナの時代だからこそ私たちがすべき努力。私たちが果たすべき責務。その両者に対してより強いプライドを持って取り組んでいきたいです。

私たちが常に念頭に置くのは安全、安心な食肉提供であります。

今年もどうぞ弊連合会をよろしく願いします。

一般社団法人群馬県信用組合協会

会 長 新 野 正 行

新年明けましておめでとうございます。

昨年はウクライナ情勢に加え急激な円安の影響により、ガス・電気料金を始め食材など多くの製品、商品等が値上がりしました。

中小・小規模事業者は長引く新型コロナウイルス感染症や円安等の影響により引き続き厳しい状況に置かれており、経営改善や経営の持続可能性の確保が課題となっています。

今年の干支は卯です。干支にまつわる格言では「卯は跳ねる」から景気が上向きになりやすく、回復しやすいと言われています。景気リスクが払拭され経済の正常化とともに景気が上昇することを大いに期待したいものです。

当協会では昨年10月に会長、副会長及び理事の交代があり新体制となりました。県内三組合は、「地域貢献・地域密着」をより強固にするため連携し、お客様への幸せづくりに本気で取り組んでまいりますので、本年もよろしくお願いいたします。

群馬県石油協同組合

理事長 今 井 正太郎

新年明けましておめでとうございます。

2022年は新型コロナが収まる気配を見せず需要も回復しないままでした。ロシアのウクライナ軍事侵攻の影響で物価は高騰、さらに円安の影響で1リッターあたり200円を超えるレギュラーガソリン価格も激変緩和措置により平均168円程で推移しています。2035年にはCO₂削減により新車販売の電動車100%の方針が打ち出された中で需要回復どころか需要減退の兆しです。車検、車輛販売その他、車関連事業の見直しが課題です。

一方ではCO₂と水素を合成して製造される合成燃料の開発も進んでおります。合成燃料であれば物流から販売まで、内燃機関やサービスステーションの設備やローリー等もそのまま活用できます。しかし製造コストが高く実用化には技術開発が必要との事。

昨年同様、課題の多い年になると思いますが今後ともご指導ご鞭撻のほど宜しくお願い致します。

群馬県鐵構業協同組合

理事長 大 竹 良 明

創立50周年、次の50年に向けて

新年、明けましておめでとうございます。

さて、群馬県鐵構業協同組合は、昨年、12月12日に創立50周年を迎えました。記念すべき50年という節目の年を迎えることができましたのも、これまで様々な形で支えてくださったお施主様を始めとした、鉄骨造に係る関係者皆様のおかげであり、厚く御礼申し上げます。

この50年間、私たち組合員は「安全な建物で人・命・財産を守る」として、安全な鉄骨造に取り組んできました。そして、これからの50年においても、最適な技術による安全な製品・サービスを皆様に提供していくことで、社会に貢献してまいります。

諸先輩の方々が築いてきた数々の経験と技術を基本に、既存の常識にとらわれず、今後も安全で品質にこだわった最適な製品・サービスを皆様に提供し、また、次代を担う人材の育成と活気ある職場づくりに全力で取り組んで、さらなる成長とともに、100年企業を目指し会員企業とともに邁



進してまいります。今後とも、なお一層のご指導、ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

群馬県電気工事工業組合

理事長 中 島 正 幸

令和5年の新春を迎え謹んでお慶び申し上げます。平素は関係各位にご理解とご支援を賜り心より御礼申し上げます。年頭に際しひとことご挨拶申し上げます。

私どもの業界は技術者の高齢化と若年層の職業離れにより、さらなる人手不足の状態が続いています。このような状況の中、県内の工業高校電気科の女子生徒が、昨年12月に私どもの上部団体主催の電気工事技能競技全国大会へ出場いたしました。彼女の競技に挑む姿勢には迫力があり、業界の将来に明るい光が見えたようでした。これからは、環境を整え魅力ある職場づくりをすることで、男性だけでなく女性技術者の業界への進出が増えることを願いたいと思います。

結びに、皆様にとりまして新しい年が明るく実りある年となりますよう祈念し、挨拶といたします。

群馬県トラック事業協同組合

理事長 今 成 克 之

昨年は、2月にロシアがウクライナに軍事侵攻を開始し、世界中に衝撃を与え戦闘が長期化する中、エネルギー・農産物等の国際取引に多大な影響を及ぼし、日本では海外に依存している原油をはじめとした原材料の価格が、円安の進行と相まって高騰し、供給も含めて不安定化し大変厳しい状況が続いています。

運輸業界では、2024年問題と言われる、ドライバーの時間外労働時間の上限規制によって、運行経路の大幅な見直し・運転手不足の加速化・利益の減少により、運賃値上げの必要性が高まる等、経営に与えるさまざまな問題への対応を進めながら、安心・安全を担保する体制整備への対応が強く求められています。

そんな中当組合は、組合員の安定経営に寄与するため、各共同事業を積極的に進め、組合員のための組合づくりに取組んでまいります。

今後とも関係機関各位のご指導ご協力をお願い申し上げます。

群馬県生コンクリート工業組合

理事長 高 木 康 夫

新年あけましておめでとうございます。

昨年は、ロシア・ウクライナ情勢による石炭をはじめとする原材料や燃料の高騰により、我々製造業者にとっては大変厳しい年になりました。

こうした中、私共、生コンクリート工業組合におきましては、各工場とも感染予防対策に万全を期し、これまでどおり安定的な出荷を行い、建設資材産業としての使命をしっかりと果たして参りました。

本年におきましても、品質管理を徹底した上で高品質な生コンクリートの出荷に努めて参ります。

また、カーボンニュートラルに向けても、まずは現状把握を行い、その上で様々な方策を検討し、地域や各工場の実情に合った取り組みを実践していくこととしております。

どうか皆様には本年も変わらないご指導、ご愛顧を賜りますようお願い申し上げます。

結びに、本年が皆様にとりまして良い年となりますようご祈念申しあげて年頭のご挨拶といたします。

群馬県バス事業協同組合

理事長 佐 藤 俊 也

謹んで新春のお慶びを申し上げます。

当組合は、高速料金後納事業並びに共同購買事業に加え、平成26年度からは群馬県等が主催するぐんまマラソンをはじめ、各般にわたるイベント等の輸送共同受注事業を行っています。

組合員事業者は「バス事業が県民の生活や経済活動を根底から支え、社会公共のために欠くことのできない重要な役割を果たしている」と自負し事業経営に取り組んでおります。昨年は、行動制限無しの諸行事も若干再開の兆しが見えたものの、バス業界への恩恵は少なく、新型コロナウイルス変異種の周期的な感染拡大等により全事業において大幅な減少を余儀なくされ、コロナ禍は3年目となり、事業経営に与える影響はさらに深刻化しています。今後は、感染拡大の予防と社会経済活動の両立を図ったうえで、必要と考えられる対策をまとめた「貸切バスにおける新型コロナウ



「ウイルス対応ガイドライン」に基づき、バスは換気が優れ、十分に安全で安心な乗り物であることを利用者に周知し、需要の回復に向けて各事業を行ってまいります。

今後ともご指導ご支援の程よろしくお願い申し上げます。新年のご挨拶といたします。

群馬県板金工業組合

理事長 飯塚 忠 利

新年、明けましておめでとうございます。

依然として新型コロナウイルスの影響に直面し、更に原油価格や原材料価格の急騰、また歴史的な円安やウクライナの情勢等の複合的な要因が重なることで減益が続き、多くの事業所では「利益なき成長」を迫られております。また、高齢化や人手不足など慢性的な労働問題や長引く経済停滞など難題が変わらず山積しています。

こうした中でも、全国板金業者静岡大会を総勢1,750名の組合員の参加のもと、3年ぶりに無事に開催することが出来ました。また、研修会や講習会、競技大会なども再開し、本格的にウイズコロナへと舵をきり動き出した事を実感しています。

このような様々な変化を実感しつつ、当組合としては組合員への直結した事業の構築や、組織の団結等を重点的に展開してゆきたいと思っております。

本年も、皆様のご健勝とご繁栄を祈念し、年頭の挨拶と致します。

群馬県美容業生活衛生同業組合

理事長 町田 仁 一

あけましておめでとうございます。中央会及び関係各位の皆様にとりまして明るく期待の持てる一年となりますよう謹んでお祈り申し上げます。

世界が混乱している中、各業界における同業団体組織・地域的組織の重要性が需要側からも供給側からも求められています。適正価格で安心した生活を送りたい消費者。燃料をはじめ仕入れや資材等の安定した流通を求めたい経営者。特に今は日本だけで動かせない情勢もあり、世界の仕組みに大きな変化が起っています。この時だからこそ、私たちの各業界団体に求められているのが「大きな不安の中にある小さな安心」だと思います。

各業種において、確実に提供できる小さな安心を届けることが今できることだと感じています。

その為には、中央会の各団体の皆様との連携が大切です。相互間の情報交換を図り、各業界にとって復活の年となりますよう祈念しまして年頭の挨拶と致します。

群馬県ビルメンテナンス協同組合

理事長 塚田 且 美

「上昇に転ずるのか、変わらないのか、新年に希望をもって」

昨年より世界情勢が混乱し、身近に戦争というものがあるに迫り、経験だになかった状況になっています。

国内では、物価高そして、燃料関係の高騰は生活を一変させました。こんな混乱の中に、業界も苦しんでいます。

業界は資機材の値上がり、見えない状況での受注金額のダウンは一段と厳しい状況に追いわれています。物価の高騰と賃金の上昇は比例するものがあると思えますが、ここ何十年もそんなことはありませんでした。また、物件ごとに時系列にみても十数年前と受注金額は、変わりありません。この状況が続くと、次世代に継ぐことが厳しくなります。

この苦しい中でも、会員皆で知恵を出し合い、関係機関にお願いし、打開策を模索しています。本年は明るいものはないように思えますが持続可能な目標をつくり、生き残り作戦を練っていこうと意気込んでいます。

会員の団結と協力で一年乗り切り、少しでも明るい業界にしたいと思えます。

群馬県不動産事業協同組合

理事長 桜井 文 雄

新年あけましておめでとうございます。

日本では、長期に亘るロシアのウクライナ侵攻による世界的な物価高・エネルギー不足に加えて急激な円安ドル高により、家計は大きな影響を受けております。

一方で、新型コロナウイルスとの共存を図るべく、県民割や全国旅行支援などが実施され、経済活性化に向けた施策が行われております。

このような状況下、本会では、新型コロナウイ



ルス感染拡大防止を図りながら、研修や法定講習会、宅建試験、不動産無料相談等を実施しております。また、不動産取引のデジタル化が本格的に解禁されたことに伴い、会員間の不動産情報サービス「ハトサポBB」、一般消費者向け「ハトマークサイト」、電子契約システム「ハトサポサイン」の普及促進にも注力しております。

今年の干支である兎のように、本年は物事が良い方向に進むこと期待しております。皆様のますますのご繁栄とご健勝をお祈り申し上げ、新年のご挨拶とさせていただきます。

群馬県遊技業協同組合

理事長 森 山 秀 夫

新年あけましておめでとうございます。

皆様には、ご家族ともども輝かしい新年をお迎えのこととお慶び申し上げます。

私ども、パチンコ・パチスロ遊技産業は、娯楽の多様化に伴う遊技参加人口の長期的な低迷や新型コロナウイルス感染症などの影響により、組合員数は、最盛期の4分の1以下という大変厳しい状況になっております。

また、IR推進法の成立以降は、依存問題対策など新たな課題への対応が強く求められております。

このような状況の中、身近で手軽な大衆娯楽として、より多くの県民の皆様へ愛され、安心して楽しんでいただけますよう新型コロナウイルス感染症拡大防止対応マニュアルの作成や自己・家族申告プログラムの導入等依存問題への対応など日々対策を講じております。

また、今年も社会貢献事業の一環として、老人福祉施設などへの寄付を行って参りますとともに、犯罪の起きにくい社会づくりに向けた諸活動を警察の指導の下、より一層強化し県民の皆様からの信頼を得て参りたいと考えております。

最後に、皆様にとりましてこの1年間が良い年となりますようご祈念申し上げて新年のご挨拶といたします。

群馬県旅館ホテル生活衛生同業組合

理事長 森 田 繁

新年あけましておめでとうございます。

新型コロナウイルス感染症は、今年で早4年目

となりますが、未だに収束の目途は立たず、将来への不安は未だ拭いきれない状況となっています。

昨年度は、第8波まで流行のピークを数えましたが、国はコロナ禍と共存する「ウィズコロナ・アフターコロナ」として、経済も同時に回す方向へ舵を切りました。私共宿泊業界としては、今は旅の形態も変化し、団体から小グループや個人旅行客が主流となりつつある中、将来を見据えた営業戦略を整え、新たな需要にしっかりと対応できる柔軟性が必要であり、受入環境の整備等にも注力し、多くのお客様をお迎えしたいと考えておりますので、皆様のより一層のご支援をお願い申し上げます。

高崎卸商社街協同組合

理事長 杉 浦 幸 男

新春を寿ぎ、謹んでご挨拶申し上げます。

コロナ禍で早3回目の新年を迎えました。渦中、ロシアによる暴挙は、ウクライナに悲惨な光景を生ぜしめています。結果、資源・食糧をはじめ様々な領域で世界中の混乱を招き、円安の行く先も見通せません。ウィズコロナが日常となる中、組合員各社の回復の実感も、コストアップが妨げています。

今年こそは穏やかな世の中であって欲しいと、祈念して止みません。

当組合は、昭和38年の創立から60年を迎えました。還暦です。組合員各社のハードも老朽化が進みつつあり、心機一転、様々なものを見直す時期を迎えています。厳しい経済環境とは言え、高度化事業や事業再構築補助金等の各種施策を積極的に活用しリニューアルを図るなど、経営努力が続けられています。

ビッグキューブ(展示ホール)や大小会議室等の組合の共同施設の稼働率は徐々に回復しつつあります。が、従来の利用方法とは異なるようにも感じます。コロナ禍はビジネススタイルに変革をもたらしました。また、この数年でコンベンション関連施設の開廃業もあり、立地環境そのものも変化しています。

従来への回復を願うのではなく、新たな環境に即応・先取りし、新しい視点で物事を考え直す心構えが必要です。

組合は再びの「癸卯(みずのとう)」を迎えました。「癸」は十干の最後で、次なる生命の成長を



意味し、「卯」は文字通り跳ねて上昇すると言います。この新しい年で更なる発展を期するところです。

関係各位のご発展をご祈念申し上げるとともに変わらぬご支援をお願い申し上げます。

高崎機械工業協同組合

理事長 佐藤 誠

新年あけましておめでとうございます。皆様に於かれましては、健やかに新年をお迎えの事とお喜び申し上げます。3年前から続いてきたコロナ騒ぎも収束しつつあり、世の中が動き始めている事は明るい材料です。

さて、私ども組合加盟企業におきましては、産業構造の変化や少子化による人材不足に加え、製造原価高騰による利益の圧迫等、様々な経営課題に直面しながらも、継続発展に向けて努力しているところでございます。当組合ではそうした個々の企業活動に貢献すべく、ものづくり企業としての社員教育や経営者の資質向上等、今年もより有益な事業を計画実行していく予定です。

関係者の皆様方に於かれましては、本年もより一層のご支援ご指導よろしくお願い申し上げます。

前橋機械金属工業協同組合

理事長 金井 正直

令和5年、新年おめでとうございます。

昨年のご支援ご協力を賜り厚く御礼申し上げます。令和4年は、世界的な病禍の継続に始まり、ロシアによるウクライナ侵略、米国の利上げ、中国の現状変更等の覇権行動、米国の中間選挙等々に大きく影響される年でありました。

国内では半導体不足による自動車生産の低迷が続き、円安による貿易収支悪化、超円安を起因としたガソリン、食料品などの諸物価値上がり高騰、国内財貨の海外流出も始まりました。また今年もより一層のIT化、DX導入の推進が望まれるなか、デジタル人材不足、SDGs特にカーボンニュートラルが大きく取り上げられることと思われます。

当組合は令和5年に設立73周年を迎えます。一昨年昨年と病禍により活動の延期、中止を余儀なくされる残念な期間でした。今年こそ事態が終息し従前通り各種研修会、親睦会、また、49回

目を迎える伊勢神宮奉賛会等の行事を通し、なお一層の団結を深め組合員各社また広く社会に貢献できる組合を目指してまいります。

関係者皆様の尚一層のご発展を祈ると共に、力強いご協力を賜れますようお願い申し上げ、病禍退散を念じつつ年頭の挨拶といたします。

協同組合前橋問屋センター

理事長 都丸 和俊

新年明けましておめでとうございます。

昨年は、新型コロナウイルス感染に起因する全国的な外出自粛が要請されなくなったことを背景に人出の回復が進み、サービス消費を中心とする個人消費の回復が牽引し、景気は流行前の水準に回復しつつあります。

しかし、ウクライナ情勢や世界的なインフレなどの影響を受け、卸売業界においても原料の高騰、輸入経費の高止まり、急激な円安、仕入れコストの急激な上昇など、販売単価へ転嫁せざるを得ない厳しい状況ではありますが、当組合におきましては、組合組織の活性化や組合員相互の力を結集することにより、経済社会の環境変化に対応してまいりたいと考えております。

当組合の施設「前橋問屋センター会館」は、会議や講習会・研修会、展示会など、皆様のビジネスに活かせる施設として幅広い活用が可能となっておりますので、是非、ご利用いただきたいと思います。

今年一年が皆様にとりまして最良の年となりますようご祈念申し上げ、年頭のごあいさつといたします。

